

質問事項及びその回答

	質問事項	回答
①	令和8年度の本事業における、各会場・各学年・各月の登録者数及び実参加者数、出席率についてご教示ください。	令和8年8月末時点における内容は別紙のとおりです。
②	令和8年度の本事業における、各会場の年間実施回数についてご教示ください。	十三中学校教室:94回 東三国中学校教室:88回 美津島中学校教室:97回 の予定です。
③	令和8年度の本事業において、会場内での授業以外に、保護者及び受講生に対して実施されているサポートや支援等がございましたら、その内容についてご教示ください。	映像授業と、保護者とのコミュニケーションアプリを提供しています。
④	本事業において、これまでに得られた主な成果や運営上の課題、また今後の事業者に期待することや求める取組がございましたら、ご教示ください。	【成果】令和7年度の参加生徒アンケートで「ヨドジユクに通うようになって、学校の授業は理解できるようになったと思いますか」の肯定的回答の割合は76%ありました。 【運営上の課題】事業者が放課後等に学校施設を使用して課外授業を実施していることから、施設の管理運営上の問題があります。 【事業者に期待すること】上記成果をさらに良い結果を生み出しつつ、上記運営上の課題を解決できるような提案を期待しています。
⑤	本事業の受講者募集に係る広報について、区内の中学生を対象としてチラシを配布する場合、1回あたりのおおよその必要部数をご教示ください。	受講者募集に係るチラシは、新中学生の学校説明会(1、2月開催)での配付と区役所への配架を想定しています。そのため、必要部数としては、淀川区内の6年生の児童数と同数の約1,200部と配架用の100部となります。
⑥	令和9・10・11年度における本事業の対象者について、淀川区内のすべての中学校に在籍する生徒が対象となるのか、または対象となる中学校が限定されるのかについて、ご教示ください。	令和9・10・11年度における対象者もこれまでに引き続き、淀川区内在住のすべての中学生を対象とします。
⑦	令和8年度の本事業において、年度途中で受講を終了した受講生がいる場合、その人数及び主な理由について、可能な範囲でご教示ください。	令和8年8月末時点の途中退塾者の人数は、23人です。退塾の主な理由は ・他の塾に行くことを希望しているため ・習い事のスケジュールと合わないため ・本人の意欲低下 となっています。
⑧	年間の授業実施回数について、学校行事や会場の使用制限等により通常の開講予定日に実施できない場合、振替授業等は実施されているでしょうか。また、実施回数が減少する主な要因についてご教示ください。	学校行事等で会場が使用できない場合は原則として振替日を設けていますが、臨時で開講できなくなった場合は、振替授業は設けていません。臨時で開講できず、実施回数が減少する主な理由は台風の接近や警報の発令等です。
⑨	令和8年度の本事業において実施されている受講者募集及び広報について、主な募集方法、募集時期及び区・学校等による周知協力の内容についてご教示ください。	受講者募集及び広報については、質問⑤のとおり新中学生の学校説明会の際にチラシを配付しています。また、区広報紙「よどマガ！」に年2～3回程度受講者募集の記事を掲載しています。